



## 第44回 総選挙

# 連合群馬推薦候補者を決定!!

4月12日に開催された第6回執行委員会で、次期衆議院議員選挙の第1区から第3区の民主党公認候補者について、連合群馬として推薦することを決定しました。

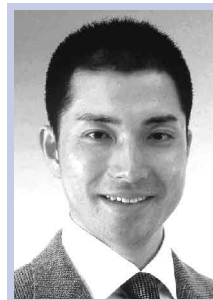
連合群馬は政策制度要求実現のために、多くの皆さんにご協力をいただきながら毎年県民意識調査に取り組んでいますが、これには皆さんの「今を伝える生の声」が多数届きます。これらを国政や県政へ、そして、各市町村行政へ届けるため（=政策制度要求を実現するため）には、私たち勤労者・生活者を代表する「議員」は必要不可欠であり、大変重要な存在です。

次期衆議院選挙の日程は未だ決定していませんが、来るべき時には、勤労者のための政治、私たち国民の民意が反映してもらえる議員を誕生させるため、今回推薦した民主党公認候補者3人の当選に向けて、連合群馬の総力をあげて応援しましょう。



群馬県第1区候補者

**高橋 仁**  
(たかはし ひとし)  
新人  
40歳



群馬県第2区候補者

**石関 貴史**  
(いしげき たかし)  
新人  
33歳



群馬県第3区候補者

**柿沼 正明**  
(かきぬま まさあき)  
新人  
39歳

## ・春の政策・制度要求実現に向けた全国統一行動・

# 群馬県議会・各市町村議会へ請願提出

連合群馬は、連合本部方針に沿い「春の政策・制度要求実現に向けた全国統一行動」として、県連合と地域協議会それぞれにおいて、県議会および市町村議会に対し5項目の請願および陳情の提出を行いました。

県連合はフォーラム群馬・県議との連携を行い、2月に開会された群馬県議会に請願提出を行いました。そして、県内各地域協議会では連合群馬・議員懇との連携を行い、3月議会での請願・意見書採択に向けて取り組みを行いました。

右の一覧表にあるように、県議会では「社会保障制度の抜本改革」の請願が採択され、3月18日に群馬県議会議長名で、衆・参両院議長と内閣総理大臣に宛てた意見書として提出されています。そして、地域協議会においても、9市町村議会において社会保障制度の抜本改革など18項目が採択・趣旨採択となっています。

今回、春闘などで準備が整わなかった地協については、6月議会での意見書採択に向け・・・に絞り、継続して取り組むこととしています。

### 【請願項目と県議会審査結果】

請願項目	審査結果
定率減税の縮小・廃止を中止することを求める意見書採択請願	継続審議
社会保障制度の抜本改革を求める意見書採択請願	採 択
ILO第175号条約及びILO第111号条約の早期批准を求める意見書採択請願	継続審議
雇用対策と地域活性化を重視した政府予算編成を求める意見書採択請願	趣旨採択
地域経済の活性化等を求める意見書採択請願	継続審議

### 編集後記

若葉の鮮やかな季節となりました。豊かな自然を次世代に引き継いで行くためには、一人ひとりが環境への意識を高め、地球温暖化防止に取り組むことが大切です。梅雨を過ぎればすぐに真夏です。冷房の設定温度を1上げるなど、CO<sub>2</sub>削減に向け出来ることから協力しましょう。(お)

**フェスタのパワーを次の活動へ**

連合群馬は八九年一二月に結成され、今年区切りの一五年目となっている。結成当初は「ゆとり・豊かさ・公正な社会」を運動方針に掲げその活動が開始された。

しかし、その後の社会環境は私たちにとって極めて厳しいものがあり、パブル崩壊と失われた一〇年と言われる長いトンネルを潜り抜け、ようやく路の彼方に、かすかな光が見えつつあるのが今である。

現在は、安心・安全と言うキーワードが商売になる時代となり、職場不安・社会不安・食品不安・環境不安・将来不安：etc. 社会全体を覆うかのような不安の影が依然として去る気配を見せていない。

地方組織として出来ることは限りがあるものの、フェスティバルで培った二地域のパワーは、他に類を見ない優れたものである。

次はこの組織力をみんなが安心して暮らせる地域社会づくりの活動につなげなければならぬ。